「ゆとり世代の戦力化」その世代の傾向をつかみ育成

Ⅱ部優良賞

吉田（よしだ）　くるみさん
（尾池工業）

「最近の若者は…」という言葉をよく耳にするが、これはいまに限ったことではなく、おそらくどの時代も言われてきたことなのだろう。なぜなら社会環境とともにその世代の特徴が変化するためだ。上の世代からみれば若い世代には自分の常識が通じないことも多く、苦労することも多々あるだろう。しかし企業の未来を担っているのはこの若い世代であるから、その世代の傾向をつかみ、育成することが重要である。特に中小企業では人数が少ないため一人当たりの戦力を高める必要がある。

現代の「最近の若者」といえば、いわゆる「ゆとり世代」である。私たちが育った社会的背景にはゆとり教育、物質的成熟社会、高度情報化社会、ゼロ成長経済・不況などがあげられる。これらの影響から一般的に言われる私たち世代の特徴として、競争に慣れていない、モノへの強い欲求が無い、情報の影響を受けやすい、失敗や不安を極力回避しようとするなどがある。

実際に私の周りでも昔に比べ兄弟が少ない家庭が多かったこと、学校でもテスト結果の順位が発表されなかったことなどから競争するということが少なかったように思う。また、周りから標準的なことがよいとされてきたので、自分だけが前に行くよりも人と足並みをそろえることに重点が置かれやすかった。さらに過保護な親が増え学校も指導に消極的になり、失敗をしたら叱るのではなく失敗しないように守るという教育になった。そのため叱られ慣れておらず、少し注意を受けただけで必要以上に落ち込んだり自信をなくしたりしてしまう人が多いのだと思う。

また、この成熟した社会の中では何かを得ようと、新しいものを生み出そうという意識が高まらず、向上心が低下しているのではないか。情報も周りに溢れているため何か問題に直面しても自分でどうにかしようとする前に周りの意見に頼ろうとしてしまう。

そのような世代がこのまま社会に出て仕事をしよう